

単元名

原の今昔早わかりポスター ～原の昔と今について校内や地域の人にポスターで伝えよう～

本単元で育成する資質・能力

郷土愛 論理的表現力

1 単元について

I : 【考え・基礎知識】

くらしの中の「和」と「洋」のよさを対比的に捉え、段落相互の関係や文章構成を考えながら読み取る。

C : 【つながり】

原の地域の「昔」と「今」について調べたことを整理してまとめ、ポスターに表す。

E : 【応用・ひろがり】

三ツ池ふれあい交流会で校内や地域の人に発信する。

児童の実態

- ★ 呉市の「ふれあい文化探訪事業のアンケート」において「自分の住んでいる地域が好きですか。」の設問に対して否定的な回答をした児童が7.7%である。 ①
- 1学期の標準学力調査の結果から、「段落の要点に注意して読み取ることができる」設問の正答率が69.2%である。 ②
- 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係に注意して文章を書くことに課題がある。 ③

育成したい資質・能力と目標

★資質・能力 ○国語科

【郷土愛】【論理的表現力】

- ★ 原の地域の歴史や自然環境、生活などを調べてまとめる活動を通して、地域のよさを理解することができる。 【原小学校 資質・能力ルーブリック レベル3】
- ★ 自分の考えを相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ表現することができる。 【原小学校 資質・能力ルーブリック レベル3】
- 「くらしの中の和と洋」の比較の仕方や情報を整理分析して説明する手立てを学び、意欲的に「原の今昔早わかりポスター」を意欲的に作るようとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成することができる。 【書くこと イ】
- 目的に応じて、書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。 【書くこと ウ】
- 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むことができる。 【読むこと イ】
- 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすることができる。 【読むこと エ】
- 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1) イ(ク)】

教材について

- くらしの中の「和」と「洋」の違いや良さについて対比的な説明がある。  
→中心となる語や文に注目して、対比による説明の分かりやすさを理解することができる。
- 比較の視点をを用いて説明している。  
→子どもたちが原の「今」と「昔」について比較ながら説明する際に活用することができる。
- 対比して説明するための語句が随所にある。  
→「～では」、「一方」、「～に対して」などを用いた表現方法を学ぶことができる。

単元を貫く言語活動とその特徴

『原の今昔早わかりポスター』を書いて校内や地域の人に発信する」活動を設定する。一人一人が、集めた情報の中から必要なものを選択して、「今」と「昔」を対比しながら紹介する記事(説明文)を書く。教材文「くらしの中の和と洋」を通して、分かりやすく説明するための対比や表現の方法を学び、学んだことを活用して説明文を書くことができる。それを、「三ツ池ふれあい交流会」で掲示するという目的意識をもつことで、主体的に情報を収集、整理分析し、原の「昔」と「今」を比べながらまとめることができると考える。

指導のポイント

- ① 自分の調べたいことを知るためにインタビューや資料集めをし、追究していくことで、地域のよさに気付くようにさせる。
- ② 教材文で中心となる語や文を読み取り、対比表を作成させる。
- ③ 教材文で作成した対比表を活用して、集めた情報を整理・分析し、対比表を作り、文章に表現させる。同じテーマのグループの中で、まず、各個人の小テーマで「今」「昔」を対比させた説明文を書かせた後に、テーマごとの大きなポスターに貼り付けてまとめさせる。

2 単元の評価規準

資質・能力 【郷土愛】 【論理的表現力】	★ 原の地域の歴史について、自分の興味を持ったことを深掘りして調査し、「今」と「昔」を比較しながら、それぞれのよさを理解している。 ★ 自分の調べたことと考えを原の「今」と「昔」を対比しながら、説明文に分かりやすくまとめている。		
国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○ 「くらしの中の和と洋」の比較や整理の方法に関心をもち、原の「昔」と「今」を比較してまとめる際に資料を引用したり要約したりして、「早わかりポスター」を作ろうとしている。	○ 調べたことの「今」と「昔」を比較しながら、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係に注意して文章を書いている。(イ) ○ 調べたことの「今」と「昔」を比較しながら、理由や事例を挙げて文章を書いている。(ウ)	○ 中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読んでいる。(イ) ○ 自分の調べたことを紹介し、自分の考えを述べるために、必要な情報は何かを考えながら読み、引用したり、要約したりしている。(エ)	○ 段落相互の関係に注意しながら、指示語や接続語の役割を理解し、自分で文章を書く際に用いている。  イ(ク)

(4) 第4学年の実践

3 単元の計画 (全12時間)

次	時	学 習 内 容	評 価				
			関	書	読	言	
単元前		<ul style="list-style-type: none"> <li>原の地域に受けつがれてきた文化財や年中行事を調べたり昔の道具に触れたりして、そこに込められた願いや思い、地域の人々の生活の変化について調べたことを記録しておく。 (社会科, 総合的な学習の時間)</li> </ul>	○				○教科の評価規準 (評価方法) ★資質・能力の評価規準 (評価方法)
1	1	<b>課題設定 (1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>原の町の「昔」と「今」を比較してまとめる方法を学ぶために教材文を読むという目的意識と見通しをもつ。</li> <li>地域の中の祭りや行事・民話・遊びなどから自分たちが調べたい課題をもち、調べたことを地域や校内に発信する学習の計画を立てる。</li> </ul>	○				○ 教材文の学習を通して、原の「今」と「昔」を調べてまとめ、校内や地域の人に発信する活動に意欲的に取り組もうとしている。(発言, 行動観察)
2	2 3 4 5	<b>情報の収集 (4)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文で住まいの「和」と「洋」の違いと良さについて何をどのように比べているかを読み取る。</li> <li>読み取ったことを基に、内容を表に整理してまとめ、筆者の説明の仕方の工夫を考える。【本時 (4/12)】</li> <li>引用や要約の仕方を学ぶ。</li> </ul>			○ ○ ○		○ 教材文を読んで重要な用語 (問いかけと答え, 順序を述べるときの表現, 対比して述べるときの表現など) や比較の観点から構成を捉え、どのように和室と洋室の違いや良さを比べて述べているかを読み取っている。(教材文プリント, ワークシート, 発言) ○ 中心となる語や文, 事実と意見との関係などを読み取り, 段落相互の関係を考えて文章を読んでいる。(ワークシート, 発言) ★ 学んだことを基に, どうすれば見る人に分かりやすく伝えられるかを考えている。(ワークシート, 発言) ○ 目的に応じて, 調べたことを引用したり要約したりして活用することを理解している。(発言, 説明文)
3	6 7 8 9 10 11 12	<b>整理・分析 (2)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>書きたいテーマのグループに分かれて, 地域の「昔」と「今」について調べてきたことを, 対比表に整理する。</li> </ul> <b>まとめ・創造・表現 (4)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文で学習したことを活かしながら説明文を書く。</li> <li>同じテーマのグループでポスターにまとめる。</li> </ul> <b>ふりかえり (1)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕上げた「原の今昔早わかりポスター」を基に, 原の町に対する自分の思いや感想を交流する。</li> </ul>			○ ◎ ○		○ 自分の考えを述べたり調べたことを紹介したりするために, 取材して集めた情報や資料を整理したり分析したりしている。(対比表, 行動観察) ○ 自分の考えを補強したり例示したりするために, 必要な部分を引用したり, 要約したりしている。(ワークシート, 発言) ○ 原の町の「今」と「昔」を比較しながら, 事例や理由を挙げて, 読み手に伝わるように説明文を書いている。(説明文) ○ 指示語や接続語の役割を理解し, 自分で文章を書く際に用いている。(説明文) ○ 友達の作成した「原の今昔早わかりポスター」のよさに気付いている。 ★ 自分たちの住んでいる町を主体的・具体的に知ろうと調べたり, 今と比較して変わってきたことや変わらないことをまとめたりすることを通して, 原の町のよさを再認識している。(説明文・ポスター)
単元後		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習後, 「原の今昔早わかりポスター」校内に掲示したり, 3学期に「三ツ池ふれあい交流会」で掲示したりして, 異学年や地域の方と交流する。</li> </ul>					★ 多様な情報を活用して協同的に学び, まとめたことを校内や地域の人に発信することを通して, 住んでいる地域のために自分たちができることを考えている。 ★ 学習をふり返り, 今後の課題をもっている。

(4) 第4学年の実践

4 本時の展開 (本時 4/12)

(1) 本時の目標

- ★ 学んだことを自分たちのミニ説明文にどう生かしていくか、どうすれば分かりやすく伝えられるかを考えることができる。 【資質・能力 論理的表現力】
- 中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えて対比表にまとめ、説明の工夫に気付くことができる。 【国語科 読むことイ】

(2) 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示物を使って簡単にふり返りをし、目的意識をもって学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">書かれている内容を表にまとめて説明の工夫を見つけよう。</div>		
考える	2 教材文の音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何について比べているかを考えながら読ませる。</li> </ul>	
深める	3 比べている観点を見つけ、ワークシートに表に大事なことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「部屋の過ごし方」 和室…いろいろなしせい 人々との間隔の調整 洋室…いろいろな椅子 次の行動が簡単にできる</li> <li>・ 「部屋の使い方」 和室…いろいろな目的に使える。 洋室…目的が決まっていて使いやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大事な文を捉えさせる。</li> <li>・ 大事だと思う言葉にサイドラインを引き、それぞれでワークシートに書き込ませる。</li> <li>・ 表にするためには、大事な言葉を使って短くまとめる必要があることに気付かせる。</li> <li>・ 和室と洋室の最も大きな違いに基づいて、過ごし方や使い方の違いが出てきていることを押さえる。</li> <li>・ ペアで話し合った後、全体の場で表に書き込むための適切な言葉を選ばせる。</li> </ul>	
	4 表から筆者の説明の仕方の工夫を話し合う。(説明の工夫) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比べて述べるときに使う言葉</li> <li>・ 問いかけと答え</li> <li>・ 比べる点ごとに和と洋に分けて述べる。</li> <li>・ 分かりやすい写真を使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表から対比の関係や意見と事実の関係などの段落相互の関係を捉えさせる。</li> </ul>	
まとめる	5 学習のまとめをする。 まとめの例		○ 比べる視点に基づき、中心となる語や文を捉えて、対比の関係や意見と事実との関係に気付きまとめている。  ★ 学んだことを自分たちの新聞にどう生かしていくか、どうすれば見る人に分かりやすく伝えられるか考え、今後の見通しをもっている。 (ワークシート・発言)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比べる点をはっきりさせて、比べて説明する。</li> <li>○ 大事な言葉や大事な文を使って説明する。</li> <li>○ 比べる言葉を使って説明する。</li> <li>○ 考えを先に述べて、理由となる事実を取り上げる。</li> </ul>	6 学習のふり返りをする。 ふり返りの例 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分は○○のテーマの中の△△という点で比べて説明したい。</li> <li>・ 新聞を作るとき、比べる言葉を使って分かりやすい文を書きたい。</li> <li>・ 自分が説明文を書くときも、表を作ってそれを基に分かりやすい文を書きたい。</li> </ul> </div>	

(4) 第4学年の実践

5 板書計画

○順序を表す言葉  
まず 次に

○比べて述べる言葉  
それ(これ)に対して  
一方

○大事な文

○大事な言葉

意見 ← 事実

良さ		
使い方	すし方	比べる点
いろいろの目的に使える	いろいろなしせい 人と人との間隔自由	和室
何に使う部屋が決まってる	こしかける 次の動作に移るのが簡単	洋室

めあて

書かれている内容を表にまとめて、説明の工夫を見つけよう。

くらしの中の和と洋

～原の今と昔についてまずめ校内や地域の人にポスターで伝えよう～

和室と洋室の最も大きな違いは、ゆかの仕上げ方とそこに置かれる家具だといってよいでしょう。・・・このちがいが、それぞれの部屋の中でのすし方や、部屋の使い方の差を生み出すと考えられます。

まとめの例

- 比べる点をはっきりさせて比べて説明する。
- 大事な言葉や大事な文を使って説明する。
- 比べる言葉を使って説明する。
- 考えを先に述べて、理由となる事実を取り上げる。

(今日の学習で原の今昔早わかりポスターに活用できそうなこと)